

令和7年度 真住中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年 4月17日	学校	93	46	37	9.8	17.9
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2
	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6

	平均IRTスコア
	理科
学校	443
大阪市	489
全国	503

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

令和7年度 真住中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

○全国学力・学習状況調査結果

【成果と課題】

＜国語＞

正答率は全国・大阪府・大阪市平均のいずれに対しても下回っているが、前年度より対全国比が0.02P向上している。

無回答率が前年度より1.5P増加した。

出題内容ごとの前年度との対全国比においては「言語の特徴」が11.5P、「話す・聞く」で0.4P、「読む」で1.2P改善されている。

＜数学＞

正答率は全国・大阪府・大阪市平均のいずれに対しても下回っており、前年度より対全国比が6.8P低下している。

「図形」の領域においては対全国差が-10.0から-7.0となり、若干の向上がみられた。

＜理科＞

平均IRTスコアにおいて全国・大阪府・大阪市平均のいずれに対しても下回った。初めてのCBTシステムによる出題であったため、慣れていない形式による実施であり戸惑いもあったと考える。

【今後に向けて】

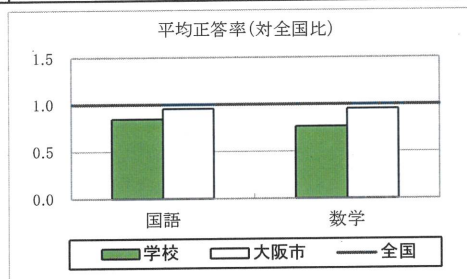
正答率、無回答率のいずれにおいても改善の必要があり、生徒の学力向上に向けた授業改善を行う。また、家庭学習も含めて学習習慣の定着を図り、主体的に学ぶ意欲を育成する。

令和7年度 真住中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

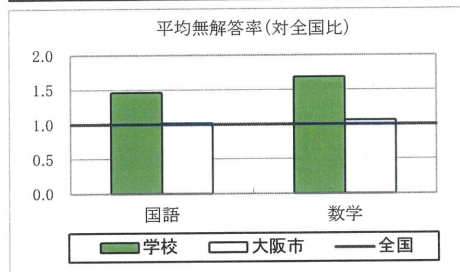
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	46	37
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

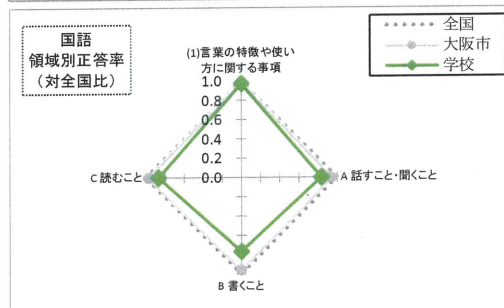
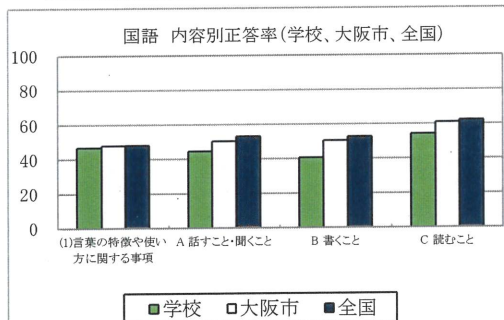


	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	9.8	17.9
大阪市	6.8	11.2
全国	6.7	10.6



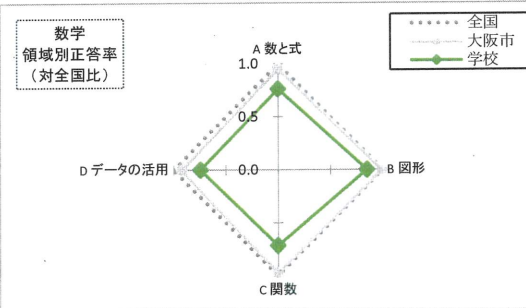
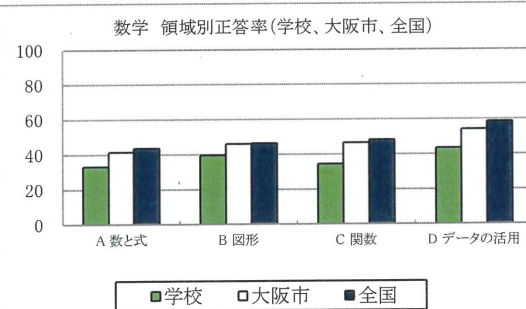
【 国 語 】

学習指導要領の 内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	46.8	47.9	48.1
(2)情報の扱い方に 関する事項	0			
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	44.6	50.4	53.2
B 書くこと	5	40.6	50.6	52.8
C 読むこと	3	54.1	61.0	62.3



【 数 学 】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	33.1	41.4	43.5
B 図形	4	39.5	46.1	46.5
C 関数	3	34.4	46.6	48.2
D データの活用	3	43.4	54.0	58.6

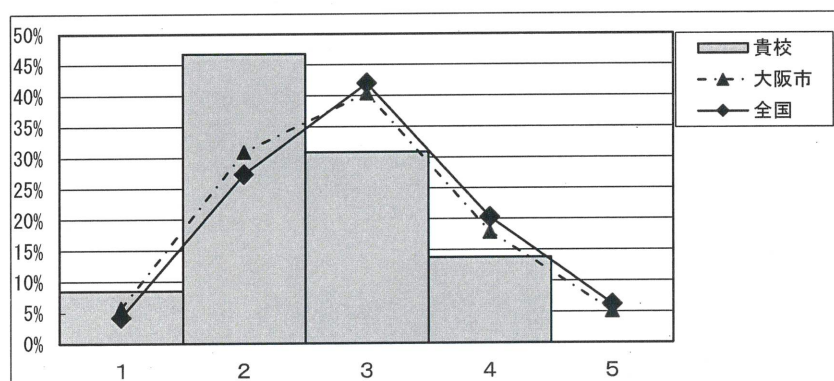
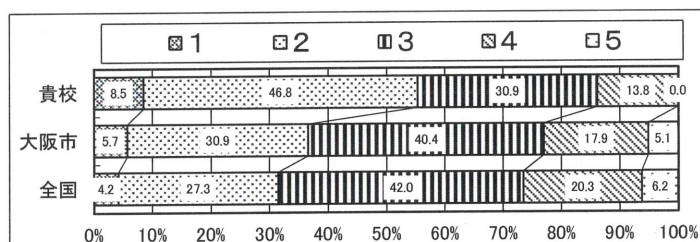


令和7年度 真住中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

	平均IRTスコア
学校	443
大阪市	489
全国	503



令和7年度 真住中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

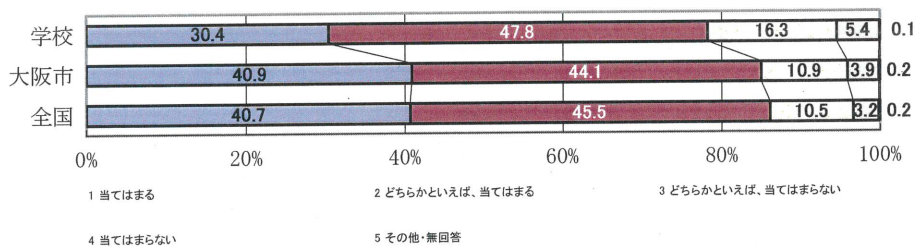
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

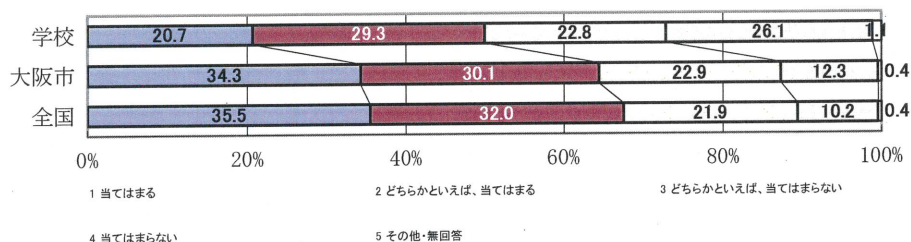
5

自分には、よいところがあると思いますか



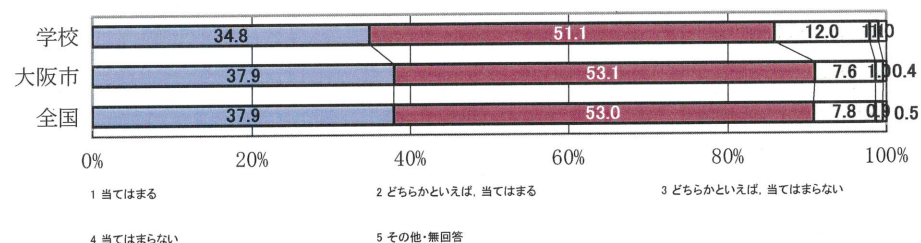
7

将来の夢や目標を持っていますか



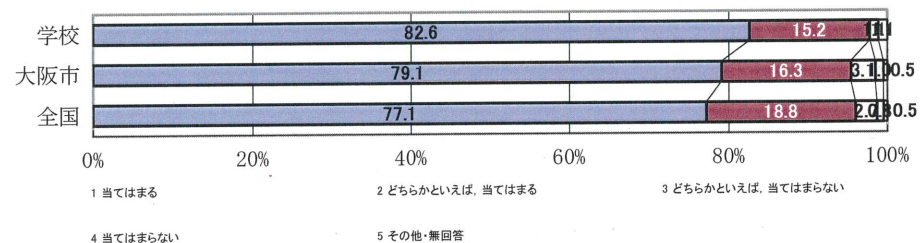
8

人が困っているときは、進んで助けていますか



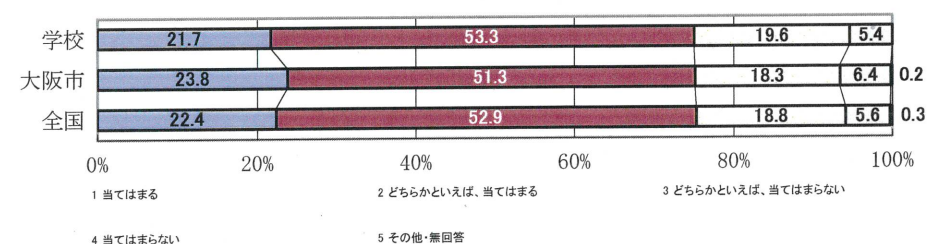
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



27

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



令和7年度 真住中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

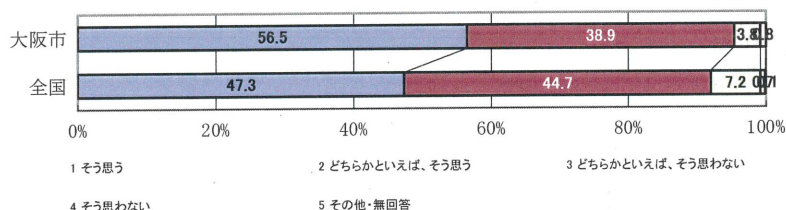
質問番号

質問事項

8

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

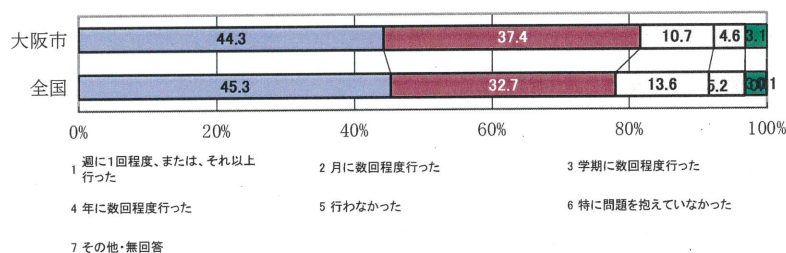
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



12

前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

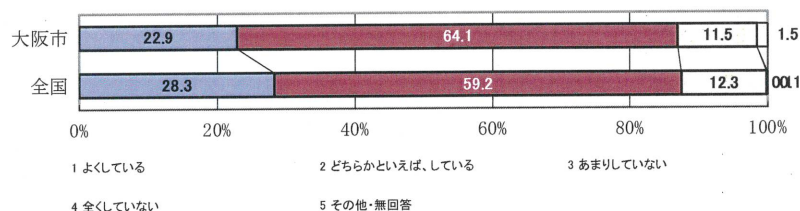
学校 「週に1回程度、または、それ以上行った」を選択



19

個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)

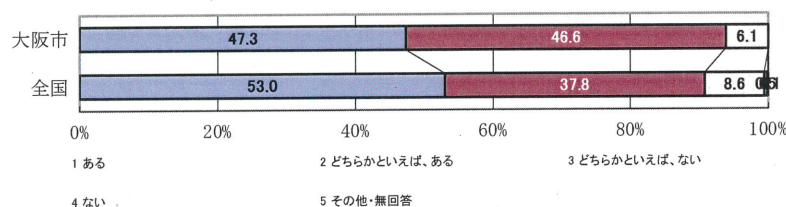
学校 「よくしている」を選択



56

教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか

学校 「ある」を選択



71

学校では、調査対象学年の生徒のうち、日本語指導が必要な生徒に対して、特別な配慮に基づく指導をどの程度行っていますか

学校 「十分に行っている」を選択

